

平成30年度
ふくいグッドジョブ女性表彰

女性の活躍が企業の業績UPに。増えています！女性がいきいき輝く企業

福井県では、商品企画や営業など仕事で優れた成果を上げた女性とその企業を顕彰し、女性が活躍しやすい環境づくりを推進することを目的として、平成27年度から毎年度「グッドジョブ女性表彰」を行っています。

第4回目となる今回は、「ふくい女性活躍推進企業」登録企業において特に優れた成果をあげた17社の女性(グループ)を表彰しました。



「ふくい女性活躍推進企業」グッドジョブ女性表彰式・登録証交付式(平成31年2月14日)

ふくいグッドジョブ女性表彰の対象者

- ・企業内において、新規プロジェクトの推進や、新たな製品、商品、サービスの企画・開発等に貢献した女性(グループ)
- ・特段の営業成績を上げるなど企業内で優れた成果を上げた女性(グループ)



業務の効率化や派遣スタッフへサービス向上などに日々取り組む管理グループのスタッフ



株式会社アイル
「管理グループ」の皆さん
インターネットを利用した
大幅な業務改善に成功。

人材派遣会社である同社の管理部門メンバーは、業務改善を目的として3年前から活動を開始。主にインターネットを活用した改善策を実施した。その一例として、インスタグラム、LINE@等のSNSを大いに活用、就職希望者の予備軍にも求人情報を発信することができた。また、これまで郵送していた給与明細の送付をなくし、WEBサイト上に派遣社員専用の給与照会ページを増設し、ペーパーレス化による経費削減も実現させるなど、業務改善に大きく貢献した。

障がいを持つ人が一緒に働ける「県議会食堂あすわ」で、生活支援者として働きながら、障がい者のサポートもしている山内さん。「初めは彼らとのコミュニケーションに戸惑いもありましたが、今では信頼関係が生まれ、スムーズに仕事をしています」。3年前に考案したはびりゅうキャラ弁が大ヒットし、昨年末までに累計1600個を売上げ、障がい者の作業工賃のアップに繋がった。「大変なこともありましたが、彼らが仕事にやりがいを感じ、成長してくれたことが一番嬉しいです」。

社会福祉法人足羽福祉会
山内 倫代さん
障がい者のやりがいを
温かくサポート。



人気だった「はびりゅうキャラ弁」は、国体閉会と共に販売を終了したが、今後も障がい者の活躍の場を広げていく



越前ブランドプロダクト
ツコンソシアム
[iiza]の商談や交渉
役を兼任し、越前打
刃物などの伝統工芸
の魅力の世界に発信
し続けている



武生特殊鋼材株式会社

河野 薫子さん

日本のものづくり魂を
世界に向けて発信。

オーストラリア人のご主人との結婚後、2013年(12月)に豪州へ。ちょうど刃物・包丁用鋼材の海外需要が伸び始めた頃で、会社の勤めもあり海外勤務を決意した。営業経験はなかったが、幼少より生きた英語に触れる機会が多く、女性が少ない業界で活躍の場を広げている。特に自宅のある豪州では、顧客がゼロの状態から開拓し、飛躍的な売上を達成した。「異国で刃物鋼材の魅力伝えることは、楽しみが大きい。日本企業のモノづくりに対する考え方を広めたい」と語る。



建設業では数少ない女性要員として、中学、高校で講演を積極的に行うなど、業界のPRIにも一役買っている



西田建設株式会社

「環境推進広報チーム」の皆さん

女性の視点を生かして

現場と業務のパイプ役に。

「女性の視点で作業所を見ると、いろんな改善点が浮かんできます」と話すのは、建設業界の過酷なイメージを払拭するために発足した女性チーム。3人は実際の現場に向き、作業員のストレスチェックや人員補充の必要性などを把握して、作業がスムーズに動くように人員や備品を手配するなど、現場のサポートに努めている。これまでの体制では把握できなかった、現場の細かな状況の改善もでき、彼女たちが現場と本社をつなぐパイプ役にもなっている。



いつも堀田さんが乗っている10トントラック。運転席が高いため、眺めは最高！運転することが何よりも楽しい



濃飛西濃運輸株式会社

福井支店

堀田 紗央里さん

将来有望の若手女性

ドライバーとして奮闘。

全国の中堅ドライバーが集まるトラックドライバーコンテストに、27歳という若さで出場し、女性部門で4位と優秀な成績を収めた。「半年間の学科勉強や県外での運転講習で練習を積み重ねて、良い結果を残せたのは、やはり大型自動車の運転が好きという気持ちが大きかったです」。現在は配達を担当しながら、運転インストラクターとして後輩の安全教育も任されている。上司からの信頼も厚く、女性ならではの細やかな指導で、頼れる存在となっている。



「まずはマーケティング用語に慣れるまでが大変でした。こんなに勉強したのは入社の時以来かも」と微笑む



平林印刷株式会社

久弘 京子さん

効果的なマーケティングで
営業をサポート。

昨年、ノベルティ・販促品の販売サイトへのマーケティングオートメーションツール導入を任せられた久弘さん。マーケティングの経験はゼロだったが、「どのタイミングでどんなアプローチをしたら追客できるかを考えながら、こちらでシナリオを作りました」。これまで担当者が個別で行っていたメール作業を自動化し、顧客のニーズに沿った形で情報を届けている。今後とも電話やDMを組み合わせることで、より深い追客を目指したいと考えている。



全ての業務にメインとサブの担当を設置するなど、業務の属人化を解消し、個人の負担感も軽減するように工夫された



ファーストトレード株式会社

「Soshinプロジェクトチーム」の皆さん

自ら考え、能動的に

働きかけた業務改善。

西端さんがリーダーを務めるプロジェクトチームは、子育てや介護などで全員が時間に制約があるため、急な欠勤や早退にも互いにフォローし合える体制作りに取り組んだ。クラウドを使った業務資料の共有や、複数人でのタスク管理の徹底による業務の漏れ防止に加え、集計作業の効率化にも努めるなど、業務改善に大きく貢献した。「時間には制約があっても、優秀な人材には社員もパートも区別なく評価してくれますし、高い意識を持って働ける環境です」。



「アサイン福井」の他、県外にも3店舗を構える。女性従業員も多く、丁寧な接客でサービスの向上を目指す



フリークイン福井株式会社
「おもてなし認証取得チーム」の皆さん
顧客満足度を高めて
県内初の金認証を取得。
経済産業省が推進する「おもてなし規格認証」は、サービス品質を見える化する制度。ホテルの姉妹店を含めたスタッフ達は、外国人観光客の増加を見据えて、ホテル内の案内表示の多言語化や、Wi-Fi環境の改善など、多岐に渡る規定項目をクリアすることに成功。福井県内では初となる「金認証」を獲得した。今後も「認知症の方や障がいのある方も、安心して宿泊できるホテルを目指したい」とさらに挑戦を続ける。

病院や調剤薬局へ納品する医薬品のPTPシートや外装パッケージ、段ボールのデザインまでを一手に担う吉村さん。小さなミスが大きな事故に繋がる可能性もあるため、常に正確さが求められる。ユーザーの気持ちになり、表示の見やすさや開封しやすいパッケージを心掛け、17年で約2000種類の包装資材に携わる。「各部署と連携して1つの製品を完成させることが、喜びになっています。些細なことでも報告・連絡を怠らないことを、仕事を進める上で大切にしているという。

マイランEPD合同会社
勝山事業所
吉村 由美さん
製品の品質に関わる
包装資材をデザイン。



ユーザーの要望に丁寧に応えながらも、医薬品の包装資材に関わるすべての業務を正確かつスピーディーに対応している。



昨年は再検査受診率96%、喫煙者は28%から4.5%に減らすことに成功。今後も健康意識の向上を目指して取り組んでいく



前田工織株式会社
「健康経営プロジェクトチーム」の皆さん
従業員の健康管理を大幅にレベルアップ。
「会社の成長は社員の健康から」という会長の思いから、同社は1年前から全社を挙げて従業員一人ひとりの健康チェックに取り組んでいる。業務企画部等に所属する森井さんら5人は、グループ全体で約12000人の従業員の健康管理を担当。健康診断の再検査を受診する仕組みづくりや、社内での「健康応援サイト」での情報発信、年2回のウォーキングイベントを企画・運営するなど、健康への関心を高めることに尽力した。今では自主的に健康管理に取り組む社員も増えている。

信州大学の数学科を卒業後、福井で就職。入社後、システムエンジニアとしての技術を一から学び、3年目にして顧客との打ち合わせからシステム構築、納品までを一貫して担当している。「お客様から役に立ったよと言ってもらえると、とてもやりがいを感じます」。昨年からの採用業務にも起用され、自身の仕事内容ややりがいについて、個人面談で話すことも多い。学生と年齢が近く、入社後の仕事をイメージしてもらいやすいこともあり、今年の女性採用の増に貢献した。

株式会社メデイカルジャパン
田賀 寛子さん
エンジニアとして活躍し
女性採用にも貢献。



専門的なプログラミングの新人研修も担当している。「人に教えるようになって、自分の理解度も高まりました」



普段は部署が違うため、あまり顔を合わさない社員同士も、一緒に活動するうちに自然とコミュニケーションが生まれた



リコージャパン株式会社
福井支社
「リコー協働の森さきての社会貢献活動隊」の皆さん
地域と企業が協働で取り組む社会貢献。
同社は、平成29年より坂井市と地元保全団体との協働で、坂井市下久留米田地区の里山保全活動に取り組んでいる。活動は、手つかずだった雑木の整理や熊笹を刈ることから始めて、最近は勉強会や憩いの場を設けるなど、時間はかかるが徐々に成果を上げている。初めは要領がわからず戸惑っていた社員も、次第に活動の面白さを感じて、今では率先して取り組むようになってきた。「活動に期限はあるものの、今後も地域に貢献していきたい」。



「適度な体力は必要ですが、丁寧な操作を求められるクレーンの運転士は、女性に向いている仕事だと思います」



株式会社オクタク
佐藤 歩さん
高度な技術の習得で
女性技術者の先駆者に。

佐藤さんは社内唯一の女性クレーンオペレーターとして、日々勉強しながらその技術を磨いている。「以前からクレーンの操縦に憧れがありました」。持ち前の勤勉さで、技術の習得が難しい移動式クレーン運転士の試験に入社2カ月で合格し、周囲を驚かせた。大型ダンプの運転とクレーン操縦の両方をこなし、周囲への気配りも忘れない佐藤さんは、男性中心の建設業界にとっても貴重な存在。今後はもっと女性のクレーン技術者の裾野を広げたいと意欲を見せる。

藤田さんは、通常の経理業務に加えて、人事や採用も担当している。「自社の業務をわかりやすく学生に伝えるために、会社のマスコットがあつたらいいな」と思い、考案したのが『技けんくん』でした。そのキャラクターは、工事現場の仮囲板やテレビCMにも登場して評判となり、従来の堅苦しいイメージが、明るく親しみやすくなったという声も聞こえている。「人材不足と言われる中で、建設業に興味を持つきっかけになれば」と周囲の期待も膨らむ。

技建工業株式会社
藤田 ひとみさん
キャラクターの考案で
イメージアップに成功。



元々は会社のロゴから生まれた犬のキャラクター。やりがいい道具をしょって(背負って)歩く、愛すべきマスコット

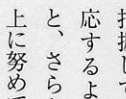


忙しい仕事の合間を縫って、調理師免許を取得した池田さん。商品開発で得た、豊富な食の知識も大いに役立っている



株式会社米五
池田 佳菜子さん
女性の心をつかむ
味噌メニューで集客を。

「味噌の可能性を多くの人に知ってもらいたい」と、店長として接客や調理をこなしながら、日々新しいメニューの開発に取り組んでいる。味噌の新しい食べ方を提案する「みそ楽」は、カフェと販売、体験施設が一緒になった新しい複合施設。オープンに備えて、社員全員がみそソムリエの資格を取得するなどの準備を重ね、現在は多くの女性客で賑わっている。味噌を使った料理が献立のヒントになり、気に入った味噌も購入できると、主婦層にも喜ばれている。



契約社員として初めて外商部に配属。男性が多く活躍する部署で、4年間、優秀な成績を継続した結果、本社員の登用もされた。

株式会社そごう・西武
西武福井店
焼田 真理さん
地道に努力を重ねる姿は
女性社員の憧れの存在。

その輝かしい成績は、パート勤務時代に配属された商品券売場や婦人服売場で学んだ経験が生かされており、自発的に様々な資格を取得したことも大きな自信に繋がった。「常にお客様のことを考え、そのお客様のライフスタイルを把握して、細かなニーズにも対応するように心掛けています」と、さらなる接客のレベルの向上に努めている。

素敵な笑顔で場を明るくしてくれる焼田さん。その仕事に対する真摯な姿勢は、後輩の目標にもなっている



素敵な笑顔で場を明るくしてくれる焼田さん。その仕事に対する真摯な姿勢は、後輩の目標にもなっている



勤務時間外に利用者の健康状態が急変したときも駆けつける。その仕事に対する献身的な姿勢は誰もが認めるところ



有限会社ダイケイ
坪川 のぶ子さん
互いに協力しえる
環境づくりに尽力。

長年、看護師として働いた職場を退職して、デイサービス「笑楽日」へ就職。看護と介護の両方の視点から、利用者の心と体のケアを行っている。「その人に合ったお世話を心掛けています。皆さんが笑顔になってくれたら」。看護師の坪川さんが、トイレや入浴の介助、レクリエーションも積極的にこなす姿を見て、周囲の人達も協力することの大切さを学んでいる。誰かにも悩みがあれば、根気よく聞いてくれる、そんな優しい人柄に他のスタッフも支えられている。